

教材名「キャッチコピーをいれ、仕上げよう」

目標

- ・ アジアの途上国の現状を知り、そこに生きる子どもたちの実態を知る。
- ・ 経済の仕組みの中で、労働や兵役など、搾取される立場にある子どもたちの現状を理解する。
- ・ 貧困のサイクルの中に苦しむ人々を救い出すためのユネスコの活動を知る。
- ・ 協力を呼びかけるリーフレット作りをする。

コンピュータを活用する利点

優れた機能を持つグラフィックソフトを用いることで、児童の持つイメージを細部まで表現することができる。時に児童の生活の中で培われている価値観や考え方も鋭く表現される。特に小学生は、基礎的な表現技能しか持たないために、ソフトの機能を活かして、表現することが可能となる。

「こんなことしてみたかった。」という言葉がそのまま児童の意欲になる。

授業の流れ

リーフレットにキャッチ
コピーを入れよう

文字の色や書体を
イメージに合わせよう

画像や背景との
イメージを調整しよう

保存しよう

コンテストに応募しよう

ICT 活用場面

人権ポスターを手書きで作る中で、リーフレットやポスターの特性を学び、キャッチコピーや印象といった事項を学ばせる。

リーフレット作りでは、画像をもとに切り貼りで自分のイメージを十分に練らせてから、作成に取り掛かった。作成全般にわたって、ICT を活用するが、最初に作った切り貼りのイメージが十分な児童ほど、意欲的に様々な機能を使うことに取り組んだ。切り貼りのイメージを核に、機能を使い分けながら、自分のイメージにぴったりのリーフレットに近づけるように試行錯誤していた。



成果と課題

- ・ ソフトの機能を活かした質の高い作品が生まれた。
- ・ 児童が十分満足する作品ができた。
- ・ パソコンを使うことを躊躇していた児童の考えが変わった。
- ・ アジアの現実を知ること、自分たちの現状の豊かさを知り、なにかできることはないかという意欲が高まった。
- ・ パソコンを使って、情報を集めたり、加工したりするよさを実感した。
- ・ 自分たちの生活の問題点を見直すきっかけになった。
- ・ 作品に表現されている内面を読み取るには十分な会話が必要だった。
- ・ 高機能なソフトを使い方に慣れるのにはある程度の時間が必要であった。

ICT 活用環境等

| | |
|--------|---------------|
| 使用周辺機器 | コンピュータ |
| 使用ソフト名 | フォトショップ・エレメンツ |
| 使用教室 | パソコン教室 |